



JAPAN CEMENT ASSOCIATION

## ふるい試験用標準物質

701C

(普通ポルトランドセメント)

### 証 明 書

本標準物質は、JCAS K-02-2004「45 $\mu$ m 網ふるいによるセメントの粉末度試験方法」の“3.1 45 $\mu$ m 網ふるいの校正”および JCAS K-03-2005「エア・ジェット式ふるい装置によるセメントの粉末度試験方法」の“3.1 標準化試験”において、ふるいの修正係数を求めるためのものである。

なお、本標準物質の有効期限は、2028年3月とする。

(残分%)

目開き 試験所	10 $\mu$ m	16 $\mu$ m	20 $\mu$ m	32 $\mu$ m	45 $\mu$ m
1	69.8	51.1	42.9	22.5	10.5
2	未実施	52.2	42.2	22.3	10.0
3	69.1	51.8	42.4	21.4	10.2
4	69.7	51.9	42.5	22.2	10.0
5	71.0	51.8	42.6	22.1	10.4
6	69.8	51.7	42.7	22.2	9.9
<b>標準値(平均)</b>	<b>69.9</b>	<b>51.8</b>	<b>42.6</b>	<b>22.1</b>	<b>10.2</b>
標準偏差	0.69	0.36	0.24	0.38	0.24

備考：45 $\mu$ m の残分値は JCAS K-02 に、それ以外の目開きの残分値は JCAS K-03 の試験方法に用いるものである。

2018年8月

一般社団法人 セメント協会  
規格専門委員会

< お問合せ先 >

一般社団法人セメント協会 研究所 セメント品質保証グループ

〒114-0003 東京都北区豊島4-17-33

電話 03-3914-2694 F A X 03-3914-2690

セメント協会のホームページ(<http://www.jcassoc.or.jp/>)の「お問合せ」からご質問いただいても結構です。

## －参考資料－

### [均質性]

約 60kg のセメント試料を混合後、本標準物質を作製した。続いて、無作為に均質性確認用試料として 10 試料を採取し、一試験所において、目開き 45 $\mu$ m 網ふるい残分を 2 回測定し、修正残分を算出して 10 $\times$ 2 の一元配置の分散分析から F 検定により判定を行った。その結果、信頼度 95%において試料間に有意な差は認められず、試料は均質とみなされた。

(単位：%)

繰返し	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
1	9.6	10.1	9.8	9.7	9.8	9.8	10.0	10.0	10.0	10.1
2	9.8	10.0	10.0	10.0	9.8	10.3	10.1	10.0	10.0	10.1

### [共同試験の概要]

本標準物質の標準値は 6 試験所参加の共同試験を実施して定めた。

各試験所はすべての目開きについて 2 試料 $\times$ 2 測定を行い、その平均値を求めた。そして、その平均値の総平均として標準値を定めた。

### [共同試験に参加した試験所]

株式会社トクヤマ 徳山製造所/南陽工場 セメント製造部

株式会社太平洋コンサルタント 品質試験部

宇部興産株式会社 建設資材カンパニー 技術開発研究所

三菱マテリアル株式会社 セメント事業カンパニー 生産部 セメント研究所

住友大阪セメント株式会社 セメント・コンクリート研究所

一般社団法人セメント協会 研究所

### [備考]

JCAS K-02 ならびに JCAS K-03 では、「粉末度測定用セメント標準物質（ふるい用）」を用いると規定されておりますが、本標準物質を用いることができます。

以上